

事務事業	15042	図書館育児支援講座開催事業	担当課 課長	社会教育課 前田 憲一郎	担当係 担当者	町民図書館 藤 幸代
計後 画期 体計 系画	施策 05	子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
				款	10	教育費
				項	5	社会教育費
				目	6	町民図書館費
		140 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる	基本事業			
法令根拠条例等		図書館法第3条	個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H18 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 乳幼児の心と言葉の発達には、絵本やわらべ歌などによる保護者からの働きかけが重要であることを知らせ、育児に取り入れてもらう。 育児支援講座の開催	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
	主 な 事 業 費 の 内 訳	千円
		千円
		千円
		千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 企画・立案、各講座の準備や実施		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 「親子ふれあいあそび講座」(定員15人)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町民 未就学の児童とその親
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 子どもの読書活動が、想像力豊かな心や言葉を育てていくために必要ということを啓発していく。



④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	27年度	28年度	29年度	
ア 講座開催数	回	2	1	2 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	27年度	28年度	29年度	
ア 人口	人	45,593	45,662	45,662 (見込)	
イ 未就学児童数	人	3,792	3,582	3,608 (見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位	27年度	28年度	29年度	
ア 受講者数(延べ)	人	目標	30	20	20
		実績	17	15	
イ		目標			
		実績			
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	2,197	2,619	2,520	2,569			
		合計(A)	2,197	2,619	2,520	2,569	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)	2,187	2,619	2,520	2,556			
	正職員人件費[按分](B)	1,020	737	1,734	904				
トータルコスト(A)+(B)	3,217	3,356	4,254	3,473	0	0			

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成17年度子ども読書活動推進計画に基づき、子育てに係わる保護者を対象に、平成18年度から絵本の読み聞かせや布絵本の製作などをして育児支援を行うようにした。	子どもに本の読み聞かせの大切さを知る手段として講座を行っている。関心を示す保護者が増えてきている。	参加者からはとても好評で、勉強になったとのこと。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	講座の開催が目的ではないため、事業の名称を変更予定。今後も読書等を通じて育児支援をおこなっていく。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	意見の集約ができず、再考の余地があるため実施できなかった。

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	育児支援のほんの一部ではあるが、子育ての大切さを分かってもらう手段として図書館の役割は必要である。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	子育ての大切さや、親子の絆は子育てできるように支援するのは妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	働いている方にも参加してもらえるように時期や時間等を考えなければならぬ。また、子育て支援センターと連携し、参加者の増加を図る。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	子育て中の保護者の学習の場は他にもある。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	直接的な経費は、講師謝礼金のみであり予算削減は難しい。講座中に発生する材料費は受講生負担。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

応募人数が少なかったため、おはなし会での宣伝やチラシ配布等により最終的には募集人数以上の応募があった。しかし、インフルエンザの流行・その他の理由で欠席もあったため、次年度は開催時期の考慮が必要。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	働いている方にも参加してもらえるように時期や時間等を考えなければならぬ。また、子育て支援センターと連携し、参加者の増加を図る。